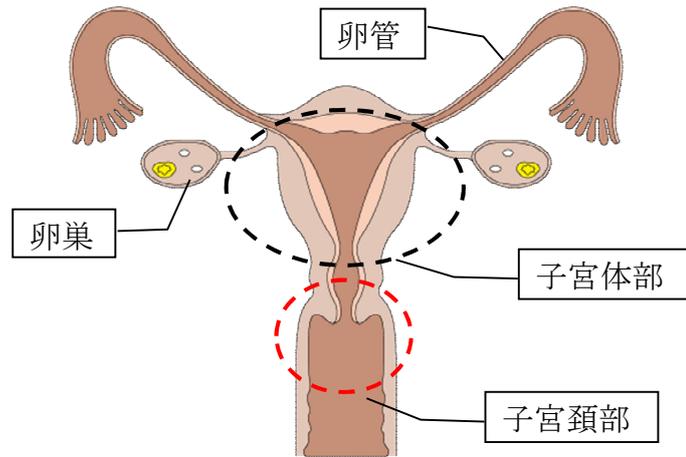


子宮頸がんを知ろう!!

子宮がんには子宮の奥に発生する「子宮体がん」と、子宮の入り口に発生する「子宮頸がん」の2種類があります。この2つは、原因も発症年齢も全く異なります。

子宮頸がんは、女性特有のがんとしては乳がんに次いで罹患率が高く、特に30～40歳代で割合が大きくなっています。



全国乳癌患者登録調査報告より

	子宮頸がん	子宮体がん
主な原因	ヒトパピローウイルス感染	ホルモンバランスの異常 肥満・未産・糖尿病
発症年齢	30～40歳代 (20～30歳代で急増)	閉経後の50歳以降

子宮頸がんの自覚症状

進行すると現れる症状

- 月経周期以外の出血 (不正出血)
- 性交時の出血
- おりものの異常
- 下腹部の痛み
- 尿や便の異常

生活習慣で気をつけること

- やせ過ぎず、太り過ぎない
- お酒はほどほど、たばこはNG



子宮頸がん検診を受けよう

対象: 20歳の女性
内容: 頸部細胞診

子宮頸がんは検診とワクチンで
予防が期待できます!!

子宮頸がんは、性交渉経験のある女性なら誰しも罹患するリスクがあります。また、初期ではほとんど自覚症状はありません。定期的に検診を受けることで早期発見することができます。

